

第14回日本公衆衛生看護学会学術集会 開催案内

このたび、第14回日本公衆衛生看護学会学術集会を、石川県で開催させていただくこととなりました。

学術集会の準備を開始した直後の2024年1月1日、石川県では震度7の能登半島地震が、9月には豪雨災害が発生しました。甚大な多重被災に対して、全国から長期間にわたり多くのご支援を頂いていることを、心より感謝申し上げます。

第14回公衆衛生看護学会学術集会のテーマは「変革の時代に求められる公衆衛生看護を考える：健康危機を超えた未来へ」です。高齢化が加速し、国民の生活における健康格差は拡大しています。さらに近年では、COVID-19の長期間・広域的な感染対策や、相次ぐ自然災害、被災後の中長期的な支援活動の必要性など、健康危機管理が課題となっています。また、超少子高齢化による社会構造の変化や保健医療福祉の担い手不足、DX(Digital Transformation)や生成AI(Artificial Intelligence)の活用など、公衆衛生看護を取り巻く環境は変化を続け、加速しているように思います。

このような状況にあつてこそ、公衆衛生看護に関わる専門職は、生活者である住民や地域、関係機関と共に、経験値を超えた様々な課題と真摯に向き合い、時代と共に変革し続ける柔軟さが求められます。本学術集会では、これまでの知見をどう次代につなぎ、さらに発展させてゆくか、変革を恐れずにどのように新たな視点に取り組んでいくのかを、参加いただく皆様と共に考えたいと思います。

12月の石川は、雪つりの景色が特徴的で、また海の幸が美味しい季節です。学術集会の合間にどうぞ街中にも足をお運びください。そして、能登半島地震から2年が経とうとしている被災地にも心を寄せていただけますと幸いです。

ご参加される皆様にとって、有意義な学術集会となりますよう、鋭意準備を進めております。多くの皆様にお会いできることを楽しみに、企画委員一同、心よりお待ち申し上げます。

第14回日本公衆衛生看護学会学術集会

学術集会会長 表 志津子(金沢大学医薬保健研究域保健学系)

学術集会副会長 西出 恵里(石川県／全国保健師長会)

メインテーマ： 変革の時代に求められる公衆衛生看護を考える：健康危機を超えた未来へ

会 期： 2025年12月13日(土)・14日(日) ハイブリッド開催

(2026年1月31日(土)まで オンデマンド配信)

会 場： 石川県地場産業振興センター

(〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地) および Web

Web サイト： <https://japhn14.yupia.net/>

後 援： 厚生労働省、文部科学省、石川県、石川市長会、石川県町長会、公益社団法人日本看護協会、公益社団法人石川県看護協会、一般財団法人日本公衆衛生協会、全国保健師長会、全国保健師長会、一般社団法人全国保健師教育機関協議会、一般社団法人日本産業保健師会、国立大学法人金沢大学
(順不同)

事 務 局： 金沢大学医薬保健研究域保健学系 (各種お問い合わせ先は最終ページ参照)

演題・ワークショップ登録期間 2025年6月1日(日)～2025年8月31日(日)

参加登録期間(前期) 2025年6月1日(日)～2025年9月30日(火)

参加登録期間(後期) 2025年11月10日(月)～2026年1月31日(土)

プログラム

※敬称略。今後変更の可能性あります。

会長講演

変革の時代に求められる公衆衛生看護：健康危機を超えた未来へ
表 志津子 （金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授）

基調講演

変革の時代に求められる公衆衛生看護の力：未来社会をつくる
佐伯 和子 （PHN-PERオフィス・北海道大学 名誉教授）

特別講演

健康日本21(第三次)とこれからの健康づくり戦略
辻 一郎 （東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 客員教授・名誉教授）

<シンポジウム>

大規模災害における被災自治体の受援の課題と今後に向けて
三上 豊子 （石川県珠洲市令和6年能登半島地震復旧・復興本部健康サポート推進室 室長）
五十嵐 侑 （産業医科大学産業医実務研修センター 助教）
奥田 博子 （国立保健医療科学院 統括研究官）

母子保健で今、何をすべきか、どこに向かうべきか ～こども家庭センター設置に際して～
中板 育美 （武蔵野大学看護学科 学部長・教授）
松浦 真理子 （石川県加賀市子育て応援ステーション(こども家庭センター) 所長）
石川 かおる （石川県加賀市子育て応援ステーション(こども家庭センター) 主査）
中谷 徹 （石川県中央児童相談所 主幹）
武田 真紀子 （石川県中央児童相談所 健康推進専門員）

2040年を見据えた保健師基礎教育・現任教育(仮)
森永 裕美子 （岡山県立大学保健福祉学部看護学科 教授）
古川 馨子 （静岡県牧之原市役所健康推進部健康推進課 副参事）
藤野 ユリ子 （福岡女学院看護大学看護学部 学部長・教授）

ICTやAIを利用した公衆衛生看護管理の実践活動
堀池 諒 （奈良県立医科大学医学部看護学科 准教授）
田口 敦子 （慶應義塾大学看護医療学部 教授）
西 ミキ （石川県加賀市役所市民健康部福祉政策課 課長）

<公衆衛生看護セミナー>

すべての人のための子どもの心のケア(仮)
山口 有紗 （国立成育医療研究センター・子どもの虐待防止センター 医師）

5歳児健診を通じた発達障害への理解促進と支援
佐藤 仁志 （金沢医科大学小児科学 講師）
中井 七美子 （石川県内灘町町民福祉部保険年金課内灘町保健センター 保健師）

次の感染症危機に備えた地域保健活動
五十嵐 久美子 （国立保健医療科学院 統括研究官）

地域住民、地域の専門職とつくる地域支援事業 ―小松市における仕組みづくり―
角地 孝洋 （石川県小松市健康福祉部長寿介護課 主幹）

公衆衛生看護管理の視点から見たPDCAサイクルと保健活動
守田 孝恵 （獨協医科大学看護学部/大学院看護学研究科 教授）

震災後のこころのケア

米倉 一磨 (相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長)

健康まちづくり –健康格差の縮小をめざして–

近藤 克則 (千葉大学予防医学センター 特任教授)

<パネルディスカッション>

糖尿病重症化予防の地域の基盤をつくる

野口 緑 (大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学 特任准教授)

清水 華子 (石川県健康福祉部健康推進課 課長補佐)

干場 美智子 (石川県宝達志水町健康福祉課 課長補佐)

認知症と共に生きる 誰一人とりのこされない社会の実現

堀田 聡子 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授)

彦 聖美 (公立小松大学保健医療学部看護学科 教授)

藤田 和子 (一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事)

健康経営と地域職域連携

中平 浩人 (新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授)

相馬 幸恵 (新潟県福祉保健部健康づくり支援課 課長)

吉田 正子 (新潟産業保健総合支援センター 産業保健専門職)

特別企画

地域における保健師の保健活動に関する指針の改定について

後藤 友美 (厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 保健指導室 室長)

企画展

能登半島地震 つなぐ想い、支えるいのちと暮らし(仮)

市民公開講座 (後援:金沢市)

「じょっぱり—看護の人花田ミキ」上映会

その他

一般演題 ワークショップ 学会活動報告(会員集会) 共催セミナー 企業展示 等

以上(予定)

ハイブリッド開催の概要

※変更の可能性があります

当学術集会では、当日のライブ配信はありません。

以下のように、一部のプログラムでオンデマンド配信を予定しています。

企画種別	開催方法・オンデマンド配信の有無
メインプログラム	会場記録動画のオンデマンド配信あり
一般演題(示説)	オンデマンド配信なし(現地会場でポスター発表を実施)
一般演題(口演)	オンデマンド配信のみ
ワークショップ	現地会場で実施(+希望者のみ事後オンデマンド配信)

※「オンデマンド配信」では、Webページに動画などを掲載します。

配信期間内の好きな時間に、いつでも何回でも、ご自身の都合に合わせて視聴ができます。

一般演題募集

1. 一般演題の内容種別と発表形式

以下の内容種別・発表形式の一般演題を募集します。
いずれの場合も、演題は発表時点で未発表のものに限ります。

項目	詳細
内容種別	<ul style="list-style-type: none">・ 活動報告 公衆衛生看護に関係する実践的な活動をまとめたもので、他地域で同様の事業を展開する者に参考になるような報告。 活動目的、活動内容、活動成果、今後の計画・課題等について報告する。・ 研究報告 公衆衛生看護に関係する調査・研究をまとめた報告。 研究目的、方法、結果、考察を論理的に報告する。
発表形式	<ul style="list-style-type: none">・ 示説（現地発表） 現地会場でポスターをパネルに掲示し、演題群ごとに決められた時間にポスターの前に立ち、質疑対応する(30～60分間程度予定)。・ 口演（動画オンデマンド配信のみ、現地発表なし） 事前に提出された発表用ファイル(音声入り動画)をオンデマンド配信する。 発表用ファイルの提出は12月上旬頃締切予定。 参加者は掲載から会期終了までいつでもオンデマンド配信を視聴可能。 質問への回答対応が必要(質問受付期間、回答期間は別途設定予定)。

2. 応募資格

- 1) 筆頭者・共同発表者は**全員、本学会の会員**であること。
(非会員の場合は、演題登録期間内に学会入会の手続きを行うこと。)
- 2) 筆頭者は必ず**演題登録期間内に参加費を支払う**こと。(共同発表者の学術集会参加は任意)
- 3) 一般演題において、筆頭者となれるのは**1題のみ**。
(複数演題の共同発表者となることは可能。ワークショップの筆頭者になることも可能。)

共同発表者には、演題登録前に必ず本学会入会への同意を得てください(学会の年会費が必要となります)。
入会手続きについては学会Webサイト(<https://japhn.jp/>)の「入会案内」をご参照ください。

3. 登録期間および方法

登録期間 2025年6月1日(日)～8月31日(日)

登録方法： オンラインにて登録（抄録本文1,000字以内）

- ・ 学会入会手続き中・会員番号不明の場合も登録は可能です。
- ・ 演題登録フォームで筆頭者および共同発表者を登録する際、日本公衆衛生看護学会認定専門家の氏名の先頭には○印を付記してください。
- ・ 抄録の本文は1,000字以内で作成してください。改行も利用できますが、紙面の都合上、最終的なレイアウトは事務局にご一任ください。なお、図表は利用できません。
- ・ 必ず倫理的配慮および利益相反についてご記入ください。倫理的配慮の記載例やその他の詳細は学術集会

Webサイトでご確認ください。

- ・登録期間中は何度でも修正が可能です。
- ・希望する発表領域を第2希望まで選択して頂きますが、発表領域の決定はご希望通りにならないことがあります(事務局にご一任ください)。

4. 査読および通知、優秀演題の選考

- ・体裁、内容、倫理的配慮、利益相反の観点で査読を行い、9月末頃にメールで査読結果をお知らせします。修正が必要な場合は10月上旬頃に修正して頂く予定です。
- ・発表演題群や演題番号、発表用ファイルの作成方法等は、10月下旬頃までにメールにてご案内します。
- ・発表用ファイルは12月上旬までに提出していただく予定です。
- ・優秀演題を選出し、表彰を行います。選考基準や方法はWebサイトでご確認ください。

ワークショップ募集

1. ワークショップについて

1) 趣旨

ワークショップ(以下、WS)は、公衆衛生看護の実践・教育・研究について、参加者との意見交換を通じて理解を深め、学び合う、双方向的な発表形式です。公衆衛生看護に関連した内容について、研究成果ならびに最近の実践活動上のトピックスに関するディスカッションを目的とした企画を募集します。また、公衆衛生看護のテーマに関連する保健活動の担当者や研究者の交流を通して、公衆衛生看護の発展を目的とした企画も募集します。

(同窓会、宗教活動、単位認定を伴う研修会・講習会等をご遠慮ください。)

[留意点] 開催可能なワークショップ数を超えた応募があった場合は、選考となることをあらかじめご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

2) 開催方法 ※予定であり、変更の可能性があります

現地会場で開催していただきます。

- ・実施時間は、準備・片づけを含め80分(予定)です。会場の設営変更等が必要な場合は時間内に世話人が実施してください。
- ・開催日時は学術集会事務局が指定します。
- ・事前に当該WSへの参加申込を受け付けることはできません。
- ・会場ではノートPC1台、スクリーン・プロジェクター、マイクをご用意する予定です。それ以外の機材が必要な場合はご自身でご準備ください。
- ・ご希望の場合、開催後に80分以内の動画1件をオンデマンド配信することができます。動画は会場での開催記録に限らず、資料動画でも結構です。動画に映っている方には必ず事前に許可を得てください。

3) 登録費

採用されたWSには、登録費として、1企画あたり 10,000円をお支払いいただきます。
お支払い方法は採用決定後にご案内します。

2. 応募資格

- 1) 筆頭世話人・共同世話人は全員、本学会の会員であること。
(非会員の場合は、WS登録期間内に学会入会の手続きを行うこと。)
- 2) 筆頭世話人・共同世話人は全員、WS登録期間内に参加登録を行い、参加費を支払うこと。
- 3) WSにおいて、筆頭世話人となれるのは1題のみ。
(複数WSの共同世話人となることは可能。一般演題の筆頭者になることも可能。)
- 4) 同一グループからの応募は1件に限る。
- 5) 共同世話人がいることを原則とする(筆頭世話人のみでの申込は不可)。

共同世話人には、WS登録前に必ず本学会入会への同意を得てください(学会の年会費が必要となります)。入会手続きについては学会Webサイト(<https://japhn.jp/>)の「入会案内」をご参照ください。

<話題提供者について>

世話人として氏名を登録しない「話題提供者」がいる場合、登録時に申込ファイルへ記載してください。

※話題提供者については、学会員資格や参加登録の有無を問いません。ただし、参加登録・参加費のお支払いがない場合は、当該ワークショップ以外のプログラムには参加できません。

3. 登録期間および方法

登録期間 2025年6月1日(日)～8月31日(日)

登録方法：Webサイトにある申込ファイルに入力し、指定先へ提出(抄録本文1,000字以内)

- ・ 筆頭世話人および共同世話人の氏名を記載する際、日本公衆衛生看護学会認定専門家の氏名の先頭には○印を付記してください。
- ・ 抄録本文は1,000文字以内で作成してください。改行も利用できますが、紙面の都合上、最終的なレイアウトは事務局にご一任ください。なお、図表は利用できません。
- ・ 抄録は構造化抄録とし、【趣旨】【内容】など内容を構造化する見出しをつけて記載してください。【趣旨】には、テーマの背景や参加者とともに考えたい論点を入れてください。【内容】には、報告内容およびWS運営上の倫理的配慮を含めて記載してください。また、利益相反に関する記載をしてください。
- ・ 本学会の過去の学術集会において、同様のテーマでWSを実施されたことがある場合は、過去の企画内容と今回の応募内容の関連性や発展性について抄録にお書きください。
- ・ その他詳細は学術集会Webサイトでご確認ください。

4. 査読と選考および結果通知

- ・ 内容、抄録の構成、倫理的配慮の適切性等の観点で査読および選考を行い、9月末頃にメールで結果をお知らせします。修正が必要な場合は10月上旬頃に修正して頂く予定です。
- ・ 最終的な採否やWS番号、開催日時、登録費の入金方法等については、10月下旬頃までにメールにてご案内します。

参加登録について

1. 参加費と参加登録期間

	会員	非会員	学生 (社会人院生を除く)
前期登録 参加費 登録期間：6月1日～9月30日 入金期間：10月24日まで	10,000円	11,000円	5,000円
後期登録 参加費 登録期間：11月10日～1月31日	11,000円	12,000円	
懇親会費	8,000円		

- ※ 会員として参加された方が開催終了時点で学会入会の手続きをされていなかった場合には、非会員の参加費との差額をご請求いたします。
- ※ 参加費は、会員は不課税、非会員・学生は10%税込です。懇親会費は10%税込です。
- ※ 日本公衆衛生看護学会は免税事業者です。インボイス制度には対応していません。

<講演集について>

- ・ 参加者には講演集のPDFファイルを配布します。上記参加費には印刷冊子は含まれません。
- ・ 前期参加登録時に限り、講演集の印刷冊子を合わせてご注文いただけます(送料・税込 1部3,000円)。
- ・ 現地会場では1部 3,000円にて印刷冊子を販売します(部数限定)。

<懇親会について>

- ・ 12月13日(土) 18:30より、アパホテル金沢駅前にて懇親会を開催予定です。詳細はホームページでご確認ください。

2. 参加登録方法

- ・ 過去の学術集会に申し込んだ方も、第14回にご参加の場合は改めてお申し込みが必要です。
- ・ 学術集会Webサイトから、Webフォーム(登録システム「Confit」)にてご登録いただき、案内に従ってお支払ください。入金確認後には自動でメールをお送りします。
- ・ 参加に関する詳細は12月上旬までにWebサイトに掲載します。

3. 参加費のお支払い方法、請求書・領収書について

- ・ お支払いはクレジットカード、または銀行振込が利用できます。
- ・ 銀行振込先の口座番号は、申込された方それぞれで異なります。振込先の口座と申込者が紐づけされていますので、入金名義はどなたでも構いません。一方で、複数名まとめてのご入金はできません。
- ・ 参加登録後、参加登録のボタンがあったところに請求書・領収書のダウンロードボタンが表示されます。宛名はご自身で変更できます。

4. 留意点・お願い

- ・ 学術集会参加費は学会員の年会費とは異なります。
- ・ 入金済みの参加費・懇親会費については原則としてご返金致しかねます。
- ・ ネットワーク上のトラブル、入金口座の間違いなどにより登録が完了しなかった場合でも、その責は負いません。ご了承ください。

現地会場のご案内

石川県地場産業振興センター

(石川県金沢市鞍月2丁目1番地)



学術集会Webサイト アクセスページ
<https://japhn14.yupia.net/access.html>



●学術集会専用 会場直行シャトルバス

JR金沢駅 金沢港口(西口)より運行予定(運航時刻限定あり)

●北鉄金沢バス JR金沢駅 金沢港口(西口)より

- ① 「金沢港クルーズターミナル」行き 乗車11分「金沢西高校」下車、徒歩5分
- ② 「金沢港クルーズターミナル」行き 乗車10分 「市立工業高校東口」下車、徒歩4分
- ③ 「金沢港クルーズターミナル」「中央病院」等行き 乗車8分 「県庁前」下車、徒歩10分

●タクシー JR金沢駅 金沢港口(西口)より約10分

※オンデマンド配信のURL情報等は参加者の方へ別途ご案内します

● 第14回学術集会の参加・演題登録等に関するお問い合わせ

第14回日本公衆衛生看護学会学術集会運営事務局

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21 (株)ユピア内

TEL : 052-872-8101 (平日10-16時) FAX : 050-3737-7331 E-Mail : japhn14@yupia.net

● 学会入会・学会年会費に関するお問い合わせ

一般社団法人日本公衆衛生看護学会 事務支局

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西印刷(株)

TEL : 075-415-3661 FAX : 075-415-3662 E-Mail : japhn@nacoss.com

日本公衆衛生看護学会ホームページ <https://japhn.jp/>

[開催中止の判断について] 感染症の流行等や災害により開催自粛や中止が必要な場合、日本公衆衛生看護学会理事長と協議の上速やかに現地開催/オンライン開催中止を決定し、学術集会をオンライン開催のみ、または講演集による誌上発表に切り替えます。中止決定は学術集会 Web サイトに緊急掲示するとともに、各演者等にはメール等でご連絡いたします。